

平成 27 年 11 月 4 日

日本リハビリテーション専門学校「第一回学校関係者評価委員会」報告

1、日時

平成 27 年 10 月 29 日（木）16:00~17:00

2、場所

日本リハビリテーション専門学校第二校舎 6 階

3、出席者

委員：高田、武市、松岡、古川、山下、栗原

事務局：二瓶、工藤、畠山、近野、篠田、鈴木雅、深瀬

4、会議内容

以下議題に添って進行

【議題】学校関係者評価委員会

- ① 平成 26 年度卒業生のアンケート調査結果の概要について
- ② 平成 27 年度入学生のアンケート調査結果の概要について
- ③ 平成 28 年度学生募集状況について

(質疑応答)

事務局 工藤

評価委員会を開始、資料に添って説明。

武市委員

夜間部にフリーターが多いが、このような社会経験もない学生が多いと授業は大変なのではないでしょうか。

古川委員

年数が経ってきているし、設備の見直し、お手洗いなど修繕の声があるようであれば、同窓会からでも応援したい。

事務局 工藤

内壁の塗装は終わった。お手洗いはウォシュレットを導入した。予算があらかじめ決まっている中での本校舎のメンテナンスは少しずつおこなっている。
建物、設備が古くても、清潔が一番大切である。

一挙にメンテナンスはできないのが現状である。グループ校内のかねあいもある。専門職大学の申請は教室、教授等の規程はまだ決まっていない。来年3月末にはわかると思います。
平成31年4月オープンの予定。

松岡委員

日リハを選ぶきっかけになった情報とかありますか。

事務局 工藤

パンフレットに記載してありますのであとでお渡しします。
パンフレットの中身については学生の意見も反映している。
昨年と比べてPT昼の受験生は増えている。厳しいのは毎年OT夜となっている。

事務局 篠田

PT昼が多いのは、現役の学生の中で、体育会系の学生が多く、そのためか、学力は低い。

栗原委員

アンケートからアットホームな感じが伝わってくる。
アンケートの中に前年度比を設けたらいいのではないのでしょうか。

事務局 工藤

そのようにします。

古川委員

母校の評判は気になる。また、教職員の対応は心温まる場所がある。
学生の意見で悪いものがあれば少しずつ改善してもらいたい。

松岡委員

再実習、再々実習の学生がなぜ卒業できたのか。疑問に思うことがある。質的な改善を望みます。
卒業生もどのような実習を行えばいいのか、考えていきたい。

事務局 工藤

卒業生の授業参加は夜間部では行っている。昼間部はできないか。

事務局 近野

職員の体制や卒業生の勤務時間帯などで、夜間部はT A可能であるが、昼間部はむずかしいところである。

事務局 工藤

次回の学校関係者評価委員会の主な議題は「自己評価学校関係者報告書案」の審議の予定です。

次回開催日の1か月以上前にこの案を各委員に郵送いたします。あらかじめお目通しをお願いいたします。